

## 令和5年度第1回箕面市通学区域審議会 議事概要

◆日時：令和5年（2023年）10月19日（木）10:00～12:00

◆場所：市役所本館2階 特別会議室

◆出席者：

【委員】増田会長、西野副会長、依積田委員、岡田委員、前田委員、石田委員、  
太田委員、川野委員、牧原委員、入江委員、岩重委員  
(欠席)高橋委員、高岡委員、福田委員

【事務局】

藤迫教育長、藤村副教育長、藪本副部長、金城学校教育監  
(教育政策室) 乾室長、竹内室長補佐、谷邊、根本

◆傍聴者：6名

◆審議会結果（概要）

【会長、副会長の選出】

- ・委員の互選により、増田委員が会長に、西野委員が副会長に選出された。

【諮問1について】

- ・校区の見直しは必要なさそうだが、以下のことについて事務局が示した上で、答申をしていきたい。
  - ①新設校を小中一貫校にしたときに中小学校の児童が途中合流する、これに対してどう対処していくのかの説明をしっかりといただきたい。
  - ②第五中学校が新設小学校の場所に移転することにより、通学の条件はどのように変化するのか。
  - ③校区面積と学校敷地面積の指標について、校種変更があっても一緒だと言えるのか。
  - ④中小学校区域内でも新設の小学校の方が児童に対して、特例措置のような対応を行うのか、教育委員会の考えを確認したい。
  - ⑤①～④に加えて、参考資料として、各学校の児童生徒数の予測を示すこと。また、財政上の問題も大きな要素だと思うので、建設コストに関する根拠も示すこと。

【諮問2について】

- ・前回の議論で決めた大きな方針（指標の考え方や指標に基づく議論の経過）は大事にしながら、やはり子どもの通学の安全性等々のところ、あるいは地域活動との整合性というあたりはもう一度きっちりと精査をしながら議論していくという方向で進めていく。
- ・「外部環境の変化や過去に課題とされた地域の現状の確認」について、教育委員会としての考え方を示すこと（現状とその対応方針など）。

以上